

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4年 5月 25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103452		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホーム よってきんさい矢賀		
所在地	広島市東区矢賀6丁目4-34 電話 (082) 510-5088		
自己評価作成日	令和4年1月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103452-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103452-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年5月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

私たちは、利用者の現在の機能が維持できるよう、共に食事作りや洗濯など家事の取り組みの他、体操や日々のレクリエーション、作業を行っています。コロナウイルス感染症予防の為、マスクを着用し天気の良い日には散歩に出かけ、地域の方と挨拶を交わしています。利用者の誕生日には、希望の献立で皆さんとお祝いし特別な日になるよう努めています。季節ごとの行事も大切に、季節を感じながら楽しんで頂いています。開設当初より看取りを継続しています。利用者、家族の希望に合わせて家庭医とスタッフ全員が協力し、「このホームでよかった」と思っただけのよう最期まで心を込めてお世話させていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念をもとに具体的な年間目標を提示し、職員全員が共有し利用者・家族に寄り添う支援をしている。その為に一人ひとりの生活歴、日々の様子や身体状況に耳を傾け、人格を尊重した個別ケアを目指し、日々介護支援に尽力している。コロナ禍で地域との交流が少ない中で民生委員、町内会長の来訪による情報など地域住民の一員としての交流を深めている。医師の往診や常勤看護師が配置され、緊急時の対応や終末期の対応体制も整備している。職員との信頼関係が築けて環境整備され、働きやすく、意見や提案が出しやすいよう努めている。

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	美泉開設当初よりの理念を元に、毎年実践目標をたて、日々のケアに取り組んでいる。毎朝の申し送り時に唱和し意識付けしている。半年で振り返り話し合いをしている。	法人理念をもとに今年度は環境整備、感染症予防を踏まえた年間目標を提示し、職員間で共有して、朝夕の申し送り時などで意識づけしている。半年ごとの振り返りや日々の支援の中で何時でも話し合える機会を設けて利用者、家族に寄り添う支援を実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し地域の行事に共に参加している。近所の方より、季節に合わせ花や野菜の苗を頂き一緒に作業している。	町内会に加入している。コロナ禍で地域行事が中止の中、民生委員の訪問や回覧板にて、地域の情報や学校便り、敬老会の記念品を町内会長が直接事業所に持参するなど、地域住民の一員として交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	推進会議での質問や、施設見学時の相談などで支援方法や考え方等をお話ししている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2カ月に1回開催し、事業所の活動を報告し意見や質問を頂いている。推進会議がきっかけで季節ごとに花や野菜の苗を近所の方が下さるようになった。	感染症予防対策の為、従来通りの参加者の開催は困難であったが、資料にて状況報告や活動報告を行い、意見交換を行ってきた。中でも地域情報や災害時の浸水状況の情報などが得られ、意見や情報が今後の取り組みに活かせるよう努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	推進会議に地域包括支援センターの方に参加して頂き、事業所の活動や状況を報告しアドバイスを頂いている。	運営推進会議の議事録をFAXにて送付し、活動報告や状況報告などを行っている。コロナ禍の中での面会に関するアドバイスや徘徊情報、サービス情報、転倒防止の助言などいつでも相談ができて、連携が図れるよう協力関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての勉強会に参加し、身体拘束がもたらす弊害等を学び実践に取り組んでいる。日中は玄関の施錠はしていない。椅子や車椅子に座りっぱなしにせず、ソファーに移動したりベットで休んで頂いている。身体拘束の委員会を定期的に行い事案の検討をしている。	2ヶ月毎に身体拘束委員会を介護支援専門員を交えて、事案の検討をしている。事業所内の勉強会に於いて、拘束による弊害や精神的なストレスなどを学び、日々の介護の中で声掛けや工夫点により、身体拘束をしないケアを実践している。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修で学び理解している。職員同士、注意し合い取り組んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修で学び、制度の利用が必要と思われる場合には、施設代表者に相談し、その方に一番いい支援が出来るよう努めている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明書により説明を行っている。納得頂けるまで質問を受け説明し、署名捺印を頂いている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。面会時に意見を伺っている。施設代表者に直接電話をされる方もある。それらの意見は管理者会議や事業所のミーティングで話し合い改善に取り組んでいる。	面会時に意見を聞いたり、手紙、直接の電話や、玄関に意見が出しやすいよう意見箱を設置している。本人の好みの物など担当職員と信頼関係が築けて、話しやすい関係性ができ、誕生日の食卓に反映している。	

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りやミーティング時意見を聞いている。電話で直接提案する場合もある。管理者会議で検討し、意見の反映に努めている。</p>	<p>環境整備され職員間で信頼関係が築けて、日々のケアの中の提案や勤務時間の調整など働きやすい、風通しのよい職場作りをしている。例えば、利用者に寄り添う支援の中で、座布団の変更など実際に改善に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>申し送りや事業所訪問などにより、把握に努めている。職員の体調や家庭事情により勤務時間の調整をしたり、研修に合わせ勤務の調整をしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内の研修を定期的に行っている。外部の研修希望時には、勤務の調整を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>施設代表者は同業者のネットワークに加入し、情報を共有し事業所での取り組みに活かしている。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>自宅や病院に訪問し、困りごとなどをしっかりと聞いている。必要に応じて何度か訪問し、安心して施設を利用して頂けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>申し込みがあった時より、家族の困りごとや不安を聞き、解決できるよう一緒に考え対応している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談があった時には、上司やケアマネに報告し必要に応じたサービスが受けられるよう対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>共に生活していることを念頭に、一緒に作業や食事をしている。利用者の得意なことが発揮できるような関わりを大切にしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時や毎月の手紙で日頃の様子を伝えている。面会が困難な場合には、電話の取次ぎを行い、関わりが継続できるよう支援している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族や友人との面会や電話を取り次いでいる。家族の支援のもと墓参りや親せきの集まりに出かけて頂いている。必要であれば付添をしている。</p>	<p>感染症予防対策に配慮して、面会や電話の取次ぎなどしている。手紙のやりとりや家族の協力を得て、墓参りや馴染みの散髪屋に外出するなど、出来る範囲内で人や場との関係の継続支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の相性を考慮し、テーブル席やソファ席を決めている。活動時には、お互いが助け合えるよう職員が間に入り声掛けしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院や転居時には、介護サマリーを作成しこれまでの生活の様子を伝えている。必要に応じて荷物をまとめたり、家族の相談に乗っている。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活の中での会話や行動から、利用者の要望等の把握に努めている。言葉で表現できない場合には、表情などからくみ取り検討している。	生活歴や日々の会話の中で人や物、名前など傾聴し、意向の把握に努めている。把握困難な場合は表情や何気ない仕草などをくみ取り、次の行動を予測し、支援対応方法を検討し、申し送りノートで共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に関係機関から情報を得ながら、日々の会話や家族からこれまでの経過を聞き、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の生活日誌に毎日の様子を記録している。体調の変化や食事量、水分量、排泄、入浴、運動、などを記録している。出来ていたことが出来なくなった時には特に注意し、経過を観察し原因の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	センター方式を用いてアセスメントしている。面会時や電話時に日頃の様子を伝えながら意見を伺っている。往診時に医師の意見を伺い、利用者の意見も伺いながら職員で話し合い作成している。	生活歴や日頃の様子を伝えながら、本人・家族の意向や職員の情報、提案が反映された本人の意欲に繋がる介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを行い見直し、現状に即した介護計画書を作成している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の生活日誌に、日頃の様子や体調、食事量、水分量、排泄などを記録し情報の共有や介護計画に活かしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	受診や入院時に家族の付添が困難な場合には、職員が付添をしている。入院中の洗濯物などを必要時には届けている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	散歩や買い物に同行し地域の方との交流が出来るよう支援している。家族や友人の面会は感染対策を取りながらして頂いている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前の係りつけ医を希望される場合には継続して頂いている。受診時には付添、日頃の様子を伝えている。事業所の家庭医には、定期的に往診して頂き、病状に応じて検査や入院の紹介をして頂いている。	利用開始時にかかりつけ医の希望の確認をしており、協力医療機関以外の医師を選択する事も可能である。歯科・整形外科・眼科など、受診の際は同行している。協力医による月2回の往診と常勤看護師も在職しており適切な医療が提供できる体制を構築している。	

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	いつもと違う様子や気づきがあった場合、看護師にすぐ報告し、家庭医に連絡を取っている。必要時には受診し診察や検査を受けて頂いている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には日頃の様子を介護情報提供書にて情報を提供している。病状の経過を医師や看護師より聞きながら、地域支援室とも連絡を取り早期に退院が出来るよう努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合について、利用者と家族の希望があれば、最後まで過ごす事が出来る事を説明している。家庭医、職員、看護師と情報を共有しながら、利用者や家族と話し合いながら対応している。	契約時に看取り支援を行っている事を書面にて説明している。重度化に至るまで選択肢がある事を伝えている。終末期に際しては家族・医師・職員など話し合いを重ね意向を確認し、情報を共有して医療機関とも連携を密に図り、穏やかに最期を迎えられるようチームで看取り介護に取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを元に社内研修で学び、実践に活かせるよう日々訓練している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回の避難訓練を行っている。事業所の近隣に住む職員が緊急時には駆けつける体制を取っている。	年2回、消防署署員立ち合い指導の下、防災訓練、避難訓練、通報訓練、消防設備点検など災害時に備えて訓練を行っている。災害時、同法人内での協力体制や非常時に備えて水、食料品など3日分備蓄している。	



自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	社内研修でプライバシーや人格に配慮した対応や声掛けをするように学び、職員同士注意している。排泄の失敗やトイレ誘導時は配慮し声掛けしている。	人格やプライバシーの研修を開催し、職員間で注意し合えるよう質の向上に取り組んでいる。排泄時や入浴時の声掛けや自分で出来る事は見守るなど、人格やプライバシーを尊重した支援を実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定する事の大切さを学んでいる。おやつ時には、希望の飲み物を伺い提供し、洋服の着替え時には着たい服を選んでいただいている。自己決定が困難な場合には、選びやすく数を減らしたり、表情から好みをくみ取っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の日課は決まっているが、その日の体調や精神状態に合わせ、利用者のペースで生活して頂いている。生活リズムが崩れないよう気を付けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自宅から持参の洋服を毎日選んできて頂いている。定期的に散髪をし、自分で髭剃りが出来ない場合には介助している。行事には女性にお化粧をすすめている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材の皮むきや盛り付けを一緒に行っている。アレルギーや好みに合わせ、食材を代替している。お誕生日にはリクエストを頂いた食事でお祝いしている。季節ごとの行事食も楽しんで頂いている。	栄養バランスを考慮した献立を提供している。食材の野菜の皮むき、味見、盛り付けを職員と一緒にし、誕生日にはリクエスト食、季節の行事食(ちらし寿司など)、おやつには手作りのホットケーキなど、食事が楽しみに繋がる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一日の摂取量や水分量は個々の生活日誌に記録している。摂取量が少ない場合には捕食や高カロリーの飲み物を飲んで頂いている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアをしている。自力で困難な場合や不足時には、仕上げ磨きや介助し口腔内の清潔に努めている。眠前には義歯は外して頂き、入れ歯洗浄剤につけている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	入居時にはオムツでも、トイレ誘導を続けることでパットのみで生活できるようになっている。夜間はベットサイドにポータブルトイレを設置し誘導している。	個別に排泄パターンを確認し、時間帯や衛生用品の種類やサイズなど確認している。生活リズムの中で、トイレ誘導を行いトイレに行く事を習慣づける支援をしている。夜間はセンサーマットやポータブルトイレを設置し、座位にて排泄に取り組んでいる。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘が危険であることは研修で学んでいる。起床時に白湯や牛乳を飲んで頂いたり、日頃より体操や散歩で体を動かすことを心掛けている。必要時には家庭医より緩下剤を処方して頂いている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週3回の入浴を最低でもして頂いている。一人ずつ入って頂き、入浴の順番は決めていない。入浴を断られた場合には、再度時間をおいて声掛けしたり、日にちを変更している。季節に合わせて、菖蒲湯や柚子湯を楽しんで頂いている。	出来るだけ自宅での生活習慣に近づけるよう考慮している。入浴は、身体状態の確認や1対1での会話などお風呂が気持ちが良い事だと気づいて頂けるよう声掛けや時にはしょうぶ湯やゆず湯など季節を感じる入浴支援を実践している。	

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日中は体操や散歩、活動に参加 し適度な疲労が得られるように している。食後には本人の希望 を聞きながら、一時間程度休 んで頂いている。布団干しやシ ーツ交換を定期的に行っている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	生活日誌に薬の説明書を綴じ、 いつでも確認できるようにして いる。臨時薬が処方された場合 には、申し送りノートに記入し 職員への徹底を図っている。臨 時薬の服用により、症状が改善 されたかどうかなど生活日誌に 記録している。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	体調に合わせて、物づくりや家 事作業をして頂いている。本人 の得意とすることを活かせるよ う、レクリエーションや活動を 計画している。誕生日には希 望の献立にし、喜んでいただい ている。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。	散歩や買い物に同行している。 利用者や家族の希望で、墓参り や外食に出かけられている。	コロナ禍で閉鎖的にならないよ う、近隣の散歩や住民が公園で 行っているグランドゴルフの見 学に出かけたり、散歩途中の草 花や風など季節を感じる支援に 努めている。時には家族と外出 する利用者もいる。	
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	家族よりの預り金で買い物時 には支払いをして頂いている。 金銭出納帳で管理している。		

自己評価	外部評価	項目(一階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話は子機を使用し、自分の部屋でゆっくり話して頂いている。手紙を希望される場合には投函などの支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>定期的に換気をし、空気の入替えを行い不快なおいがこもらないように気を付けている。夏の強い日差しはカーテンを使用し、エアコンを使用しながら室温の調整を行っている。壁画や花、飾り物で季節感を感じて頂いている。</p>	<p>季節感を楽しめるよう手作り作品や壁画、花、飾り物を展示している。感染症予防対策の為、定期的に清掃、消毒、換気、空調管理など意識して行っている。室内はソファ、テーブル、足台など寛げるよう設置され、時には歌を唄うなど楽しみながら、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファは広めのソファを置いている。テーブル席で過ごしたり、居室でゆっくり過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用されていた家具や置物、鏡、仏壇などを持参して頂き、居室作りをしている。家具の配置など、可能な限り利用者の希望に合わせている。</p>	<p>居室にはエアコン、ベッド、照明器具を常設しており、自宅で使い慣れた物、慣れ親しんだ鏡台など、好みの物を持参し、思い思いの居室になるよう工夫している。利用者の動線に配慮し、落ち着いて過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下やトイレ浴室には手すりを設置し、玄関には座って靴が履けるようベンチ椅子を設置している。居室入口には目印の花などを飾り自分の部屋がわかるようにしている。</p>		

V アウトカム項目( 一階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	美泉開設当初よりの理念を元に、毎年実践目標をたて、日々のケアに取り組んでいる。毎朝の申し送り時に唱和し意識付けしている。半年で振り返り話し合いをしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し地域の行事に共に参加している。近所の方より、季節に合わせ花や野菜の苗を頂き一緒に作業している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	推進会議での質問や、施設見学時の相談などで支援方法や考え方等をお話している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2カ月に1回開催し、事業所の活動を報告し意見や質問を頂いている。推進会議がきっかけで季節ごとに花や野菜の苗を近所の方が下さるようになった。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	推進会議に地域包括支援センターの方に参加して頂き、事業所の活動や状況を報告しアドバイスを頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての勉強会に参加し、身体拘束がもたらす弊害等を学び実践に取り組んでいる。日中は玄関の施錠はしていない。椅子や車椅子に座りっぱなしにせず、ソファーに移動したりベッドで休んで頂いている。身体拘束の委員会を定期的に行い事案の検討をしている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修で学び理解している。職員同士、注意し合い取り組んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修で学び、制度の利用が必要と思われる場合には、施設代表者に相談し、その方に一番いい支援が出来るよう努めている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明書により説明を行っている。納得頂けるまで質問を受け説明し、署名捺印を頂いている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。面会時に意見を伺っている。施設代表者に直接電話をされる方もある。それらの意見は管理者会議や事業所のミーティングで話し合い改善に取り組んでいる。		



自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りやミーティング時意見を聞いている。電話で直接提案する場合もある。管理者会議で検討し、意見の反映に努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>申し送りや事業所訪問などにより、把握に努めている。職員の体調や家庭事情により勤務時間の調整をしたり、研修に合わせ勤務の調整をしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内の研修を定期的に行っている。外部の研修希望者には、勤務の調整を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>施設代表者は同業者のネットワークに加入し、情報を共有し事業所での取り組みに活かしている。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>自宅や病院に訪問し、困りごとなどをしっかりと聞いている。必要に応じて何度か訪問し、安心して施設を利用して頂けるよう努めている。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目( 二階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	申し込みがあった時より、家族の困りごとや不安を聞き、解決できるよう一緒に考え対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談があった時には、上司やケアマネに報告し必要に応じたサービスが受けられるよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	共に生活していることを念頭に、一緒に作業や食事をしている。利用者の得意なことが発揮できるような関わりを大切にしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時や毎月の手紙で日頃の様子を伝えている。面会が困難な場合には、電話の取次ぎを行い、関わりが継続できるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族や友人との面会や電話を取り次いでいる。家族の支援のもと墓参りや親せきの集まりに出かけて頂いている。必要であれば付添をしている。		

自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者同士の相性を考慮し、テーブル席やソファ席を決めている。活動時には、お互いが助け合えるよう職員が間に入り声掛けしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>入院や転居時には、介護サマリーを作成しこれまでの生活の様子を伝えている。必要に応じて荷物をまとめたり、家族の相談に乗っている。</p>		
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>毎日の生活の中での会話や行動から、利用者の要望等の把握に努めている。言葉で表現できない場合には、表情などからくみ取り検討している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居時に関係機関から情報を得ながら、日々の会話や家族からこれまでの経過を聞き、把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>個々の生活日誌に毎日の様子を記録している。体調の変化や食事量、水分量、排泄、入浴、運動、などを記録している。出来ていたことが出来なくなった時には特に注意し、経過を観察し原因の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式を用いてアセスメントしている。面会時や電話時に日頃の様子を伝えながら意見を伺っている。往診時に医師の意見を伺い、利用者の意見も伺いながら職員で話し合い作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個々の生活日誌に、日頃の様子や体調、食事量、水分量、排泄などを記録し情報の共有や介護計画に繋げている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>受診や入院時に家族の付添が困難な場合には、職員が付添をしている。入院中の洗濯物などを必要時には届けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>散歩や買い物に同行し地域の方との交流が出来るよう支援している。家族や友人の面会は感染対策を取りながらして頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の係りつけ医を希望される場合には継続して頂いている。受診時には付き添い、日頃の様子を伝えている。事業所の家庭医には、定期的に往診して頂き必要に応じて専門医を紹介受診している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	いつもと違う様子や気づきがあった場合、看護師にすぐ報告し、家庭医に連絡を取っている。必要時には受診し診察や検査を受けて頂いている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には日頃の様子を介護情報提供書にて情報を提供している。病状の経過を医師や看護師より聞きながら、地域支援室とも連絡を取り早期に退院が出来るよう努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合、利用者と家族の希望があれば、最後まで過ごすことが出来ると説明している。家庭医、職員、看護師と情報を共有しながら、利用者や家族と話し合いながら対応している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを元に社内研修で学び、実践に活かせるよう日々訓練している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回の避難訓練を行っている。事業所の近隣に住む職員が緊急時には駆けつける体制を取っている。		

自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	社内研修でプライバシーや人格に配慮した対応や声掛けをするよう学び、職員同士注意している。排泄の失敗やトイレ誘導時には配慮し声掛けしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定することの大切さを学んでいる。おやつ時には、希望の飲み物を伺い提供し、洋服の着替え時には着たい服を選んでいただいている。自己決定が困難な場合には、選びやすく数を減らしたり、表情から好みをくみ取っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の日課は決まっているが、その日の体調や精神状態に合わせて、利用者のペースで生活して頂いている。生活リズムが崩れないよう気を付けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自宅から持参の洋服を毎日選んで着て頂いている。定期的に散髪をし、自分で髭剃りが出来ない場合には介助している。行事には女性にお化粧品を進めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材の皮むきや盛り付けを一緒に行っている。アレルギーや好みに合わせ、食材を代替している。お誕生日にはリクエストを頂いた食事でお祝いしている。季節ごとの行事食も楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の摂取量や水分量は個々の生活日誌に記録している。摂取量が少ない場合には捕食や高カロリーの飲み物を飲んで頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアをしている。自力で困難な場合や不足時には、仕上げ磨きや介助し口腔内の清潔に努めている。眠前には義歯を外して頂き、入れ歯洗浄剤につけている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>入居時にはオムツでも、トイレ誘導を続けることでパットのみに生活できるようになっている。夜間はベットサイドにポータブルトイレを設置し誘導している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘が危険であることは研修で学んでいる。起床時に白湯や牛乳を飲んで頂いたり、日頃より体操や散歩で体を動かすことを心掛けている。必要時には家庭医より緩下剤を処方して頂いている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週三回の入浴を最低でもして頂いている。一人ずつ入って頂き、入浴の順番は決めていない。入浴を断られた場合には、再度時間をおいて声掛けしたり、日にちを変更している。季節に合わせて、菖蒲湯や柚子湯を楽しんで頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中は体操や散歩、活動に参加し適度な疲労が得られるようにしている。食後には本人の希望を聞きながら、一時間程度休んで頂いている。布団干しやシーツ交換を定期的に行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>生活日誌に薬の説明書を綴じ、いつでも確認出来るようにしている。臨時薬が処方された場合には、申し送りノートに記入し職員への徹底を図っている。臨時薬の服用により、症状が改善されたかどうかなど生活日誌に記録している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>体調に合わせて、物づくりや家事作業をして頂いている。本人の得意とすることを活かせるよう、レクリエーションや活動を計画している。誕生日には希望の献立にし、喜んでいただいている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>散歩や買い物に同行している。利用者や家族の希望で、墓参りや外出に出かけられている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>家族よりの預り金で買い物時には支払いをして頂いている。金銭出納帳で管理している。</p>		



自己評価	外部評価	項目(二階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は子機を使用し、自分の部屋でゆっくり話して頂いている。手紙を希望される場合には投函などの支援をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	定期的に換気をし、空気の入替えを行い不快なおいがこもらないように気を付けている。夏の強い日差しはカーテンを使用し、エアコンを使用しながら室温の調整を行っている。壁画や花、飾り物で季節感を感じて頂いている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファは広めのソファを置いている。テーブル席で過ごしたり、居室でゆっくり過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅で使用されていた家具や置物、鏡、仏壇などを持参して頂き、居室作りをしている。家具の配置など、可能な限り利用者の希望に合わせている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置し、玄関には座って靴が履けるようベンチ椅子を設置している。居室入口には目印の花などを飾り自分の部屋がわかるようにしている。		

V アウトカム項目( 二階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい矢賀

作成日 令和4年7月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害時における地域との協力関係を築く。	災害時・地域の協力が得られる。	運営推進会議を通し、町内会に働きかける。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。